

Syllabus

					学科名
授業科目	宿泊総論	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1年次	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	30回	単位	2単位	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 ホテルのフロントオフィス部門とフロントサービス部門の業務について理解を深める。</p> <p>【概要】 テキストを中心に学習して、ホテル実務技能認定試験の合格及び知識の定着を図る。</p>				
到達目標	宿泊部門の基本的知識を学習して、ホテル実務技能認定試験に合格する知識を習得する。				
授業内容	回 01：フロントオフィス① 02：フロントオフィス② 03：フロントオフィス③ 04：フロントオフィス④ 05：フロントオフィス⑤ 06：フロントオフィス⑥ 07：フロントオフィス⑦ 08：フロントオフィス⑧ 09：フロントオフィス⑨ 10：フロントオフィス⑩ 11：フロントオフィス⑪ 12：フロントオフィス⑫ 13：フロントサービス① 14：フロントサービス② 15：フロントサービス③	回 16：フロントサービス④ 17：フロントサービス⑤ 18：フロントサービス⑥ 19：フロントサービス⑦ 20：フロントサービス⑧ 21：ホテル業務関連知識① 22：ホテル業務関連知識② 23：ホテル業務関連知識③ 24：ホテル業務関連知識④ 25：ホテル業務関連知識⑤ 26：ホテル業務関連知識⑥ 27：ホテル業務関連知識⑦ 28：ホテル業務関連知識⑧ 29：過去問題演習① 30：総まとめ			
テキスト 参考文献	テキスト・参考書				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

Syllabus

					学科名
授業科目	料飲理論	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1年次	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	30回	単位	2単位	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 ホテルのレストラン部門の業務について理解を深める。</p> <p>【概要】 テキストを中心に学習して、ホテル実務技能認定試験の合格及び知識の定着を図る。</p>				
到達目標	料飲部門の基本的知識を学習して、ホテル実務技能認定試験に合格する知識を習得する。				
授業内容	回 01：料飲部門知識① 02：料飲部門知識② 03：料飲部門知識③ 04：料飲部門知識④ 05：料飲部門知識⑤ 06：料飲部門知識⑥ 07：料飲部門知識⑦ 08：料飲部門知識⑧ 09：料飲部門知識⑨ 10：料飲部門知識⑩ 11：料飲部門知識⑪ 12：料飲部門知識⑫ 13：料飲部門知識⑬ 14：料飲部門知識⑭ 15：料飲部門知識⑮	回 16：バーラウンジ知識① 17：バーラウンジ知識② 18：バーラウンジ知識③ 19：バーラウンジ知識④ 20：バーラウンジ知識⑤ 21：バーラウンジ知識⑥ 22：バーラウンジ知識⑦ 23：バーラウンジ知識⑧ 24：バーラウンジ知識⑨ 25：バーラウンジ知識⑩ 26：過去問題演習① 27：過去問題演習② 28：過去問題演習③ 29：過去問題演習④ 30：総まとめ			
テキスト 参考文献	テキスト・参考書				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

Syllabus

					学科名
授業科目	ブライダル概論	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1年次	時期	前期	担当	外部講師
授業回数	15回	単位	1単位	実務家	○
授業目的 概要	<p>【目的】 結婚式の企画運営に必要な基礎知識を理解すると共に、ブライダル業界で求められるプロフェッショナルとしての土台を築く。</p> <p>【概要】 ブライダル業界の構造、歴史、挙式スタイルなどを学び、基礎知識と業界理解を深める。</p>				
到達目標	<p>結婚の定義や文化・歴史、結婚式のスタイルの違いについて理解を深める アシスタントウェディングプランナー検定試験に合格</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：概要</p> <p>02：ブライダルの基礎①</p> <p>03：ブライダルの基礎②</p> <p>04：ブライダルの基礎③</p> <p>05：ブライダルの基礎④</p> <p>06：ブライダルの基礎⑤</p> <p>07：ブライダルの基礎⑥</p> <p>08：ブライダルの基礎⑦</p> <p>09：ブライダルの基礎⑧</p> <p>10：過去問対策①</p> <p>11：過去問対策②</p> <p>12：過去問対策③</p> <p>13：過去問対策④</p> <p>14：過去問対策⑤</p> <p>15：総まとめ</p>				
テキスト 参考文献	テキスト・参考書				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

Syllabus

					学科名
授業科目	ブライダル総論	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1年次	時期	前期	担当	外部講師
授業回数	15回	単位	2単位	実務家	○
授業目的 概要	<p>【目的】 本授業ではブライダル概論の授業で得た知識に基づき、各種ブライダル関連検定に合格することを目的とする。</p> <p>【概要】 過去問題演習を中心とし、出題傾向の把握、解説による理解定着、模擬試験を通して得点力を高め、検定合格を目指す。</p>				
到達目標	結婚の定義や文化・歴史、結婚式のスタイルの違いについて理解を深める アシスタントウェディングプランナー検定試験に合格				
授業内容	回 01：ブライダルの応用① 02：ブライダルの応用② 03：ブライダルの応用③ 04：ブライダルの応用④ 05：ブライダルの応用⑤ 06：ブライダルの応用⑥ 07：ブライダルの応用⑦ 08：ブライダルの応用⑧ 09：問題演習① 10：問題演習② 11：問題演習③ 12：問題演習④ 13：問題演習⑤ 14：問題演習⑥ 15：総まとめ				
テキスト 参考文献	テキスト・参考書				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

Syllabus

					学科名
授業科目	ブライダルビジネス	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	1年次	時期	前期	担当	外部講師
授業回数	45回	単位	3単位	実務家	○
授業目的 概要	<p>【目的】 本授業では、ウェディングプランナーとして必要な業務理解と実践力を養うことを目的とする。新郎新婦との打合せ、企画提案、当日の進行管理等、婚礼業務の流れを体系的に学ぶ。</p> <p>【概要】 ウェディングプランナー業務を学び、模擬挙式・披露宴の企画運営を行う。外部講師授業を通じて、現場視点と実践技能を習得する。</p>				
到達目標	ブライダルの仕事を理解する。				
授業内容	回 01：導入 02：他己紹介 03：ウェディングの仕事について 04～05：立ち居振る舞い基礎 06～08：ブライダル業界のカテゴリー 09：ウェディングプランナーの業務 10：社会人としての基礎知識 11：社会人としてのマナー 12：敬語 13～14：様々な挙式 15：外部講師「プロデュース会社」 16：打合せについて1「スケジュール」 17：打合せについて2「ペーパーアイテム」 18：打合せについて3「進行など」 19～20：見学「ホテルウェディング」	回 21：打合せについて4「会場装花」 22～23：見学「ゲストハウス」 24：打合せについて5「サービス」 25～26：外部講師「フローリスト」 27：打合せについて6「ギフト・引出物」 28～29：外部講師「フォトグラファー」 30：打合せについて7「料理」 31～33：外部講師「映像撮影・編集」 34～35：外部講師「ヘアメイク」 36：打合せについて8「当日の流れ」 37～38：外部講師「司会」 39：打合せについて9「挙式プランニング」 40～42：外部講師「音響オペレーター」 43～45：外部講師「エアブラシメイク」			
テキスト 参考文献	なし				
成績基準	授業態度・課題を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

Syllabus

					学科名
授業科目	ビジネス日本語基礎 I	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1年次	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	30回	単位	2単位	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】日本語の文法や語彙を学ぶだけでなく、伝統文化や歴史等を理解しながら日本社会で生きていくための会話行動センスを身に付ける</p> <p>【概要】ニュース素材（政治、経済、社会、国際情勢、季節の話題など）を取り上げながら、関連する背景知識を学び、ロールプレイを通して日本に対する理解を深める</p>				
到達目標	<p>1. 日本の年中行事、国民の祝日、伝統文化とその背景を理解する</p> <p>2. 敬語の使い分け、話し言葉と書き言葉の違いを理解し表現する</p> <p>3. おもてなし（他者への配慮）の精神を作法と日本語で表現する</p> <p>4. 季節の話題を盛り込んだ挨拶、日常会話ができる</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：ニュース素材 1、ロールプレイ 1</p> <p>02：ニュース素材 2、ロールプレイ 2</p> <p>03：ニュース素材 3、ロールプレイ 3</p> <p>04：ニュース素材 4、ロールプレイ 4</p> <p>05：ニュース素材 5、ロールプレイ 5</p> <p>06：ニュース素材 6、ロールプレイ 6</p> <p>07：ニュース素材 7、ロールプレイ 7</p> <p>08：ニュース素材 8、ロールプレイ 8</p> <p>09：ニュース素材 9、ロールプレイ 9</p> <p>10：ニュース素材 10、ロールプレイ 10</p> <p>11：ニュース素材 11、ロールプレイ 11</p> <p>12：ニュース素材 12、ロールプレイ 12</p> <p>13：ニュース素材 13、ロールプレイ 13</p> <p>14：ニュース素材 14、ロールプレイ 14</p> <p>15：ニュース素材 15、ロールプレイ 15</p>	<p>回</p> <p>16：ニュース素材 16、ロールプレイ 16</p> <p>17：ニュース素材 17、ロールプレイ 17</p> <p>18：ニュース素材 18、ロールプレイ 18</p> <p>19：ニュース素材 19、ロールプレイ 19</p> <p>20：ニュース素材 20、ロールプレイ 20</p> <p>21：ニュース素材 21、ロールプレイ 21</p> <p>22：ニュース素材 22、ロールプレイ 22</p> <p>23：ニュース素材 23、ロールプレイ 23</p> <p>24：ニュース素材 24、ロールプレイ 24</p> <p>25：ニュース素材 25、ロールプレイ 25</p> <p>26：ニュース素材 26、ロールプレイ 26</p> <p>27：ニュース素材 27、ロールプレイ 27</p> <p>28：ニュース素材 28、ロールプレイ 28</p> <p>29：ニュース素材 29、ロールプレイ 29</p> <p>30：総まとめ</p>			
テキスト 参考文献	テキスト・参考書				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	毎日の生活の中で読めなかった漢字、意味が分からない日本語、聞き取れなかった言葉を記録するための「日本語ノート」を用意すること				

Syllabus

					学科名
授業科目	日本文化概論 I	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	1年次	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15回	単位	1単位	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】「ビジネス日本語基礎 I」で学んだ知識について、問題演習を通して定着させる</p> <p>【概要】日本語能力試験（JLPT）N2、N1 レベルの練習問題を活用し、問題文の背景を理解しながら日本語能力を向上する</p>				
到達目標	<p>1. 日本語能力試験（JLPT）N1 合格</p> <p>2. 日本語能力試験（JLPT）N2 合格</p> <p>3. 日本語能力試験（JLPT）N3 合格</p> <p>4. 季節の話題を盛り込んだ挨拶、日常会話ができる</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：文字語彙 1、文法 1、ドリル 1</p> <p>02：文字語彙 2、文法 2、ドリル 2</p> <p>03：文字語彙 3、文法 3、ドリル 3</p> <p>04：文字語彙 4、文法 4、ドリル 4</p> <p>05：文字語彙 5、文法 5、ドリル 5</p> <p>06：文字語彙 6、文法 6、ドリル 6</p> <p>07：文字語彙 7、文法 7、ドリル 7</p> <p>08：文字語彙 8、文法 8、ドリル 8</p> <p>09：文字語彙 9、文法 9、ドリル 9</p> <p>10：文字語彙 10、文法 10、ドリル 10</p> <p>11：文字語彙 11、文法 11、ドリル 11</p> <p>12：文字語彙 12、文法 12、ドリル 12</p> <p>13：文字語彙 13、文法 13、ドリル 13</p> <p>14：文字語彙 14、文法 14、ドリル 14</p> <p>15：総まとめ</p>				
テキスト 参考文献	テキスト・参考書				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	毎日の生活の中で読めなかった漢字、意味が分からない日本語、聞き取れなかった言葉を記録するための「日本語ノート」を用意すること				

Syllabus

					学科名
授業科目	ホテル実務 I	授業形態	実習	区 分	選択必修
年 次	1 年次	時 期	前期	担 当	外部講師
授業回数	15 回	単 位	2 単位	実務家	○
授業目的	【目的】 レストランサービスにおける基本動作・ホスピタリティ・サービス技術の習得				
概 要	【概要】 HRS レストランサービス・スタンダードマニュアル教本にて、レストランサービス技能検定 3 級技能士、取得に向けて実技指導を行います。 インターンシップに向けて、サービス技術の基本動作を学びます。				
到達目標	ホテル S 1 グランプリに向けて、ドリンクサービス技術の習得（1 1 月実施） レストランサービス 3 級技能検定、実技課題の習得（2 年、1 1 月実施）				
授業内容	回 01：自己紹介・授業の進め方について 02：笑顔から始まる接客の基本 03：什器備品の知識 04：リネン類の知識 05：テーブルセッティング 06：サービストレイについて 07：プレートサービスについて 08：インターンシップに向けて 09：インターンシップに向けて 10：インターンシップに向けて 11：インターンシップに向けて 12：インターンシップに向けて 13：インターンシップに向けて 14：総まとめ 1 限目 15：総まとめ 2 限目				
テキスト 参考文献	テキスト・参考書				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内 容	授業の振り返り、普段の日常生活にてホテル・レストランサービスに興味を持つこと				

Syllabus

					学科名
授業科目	インターンシップ研修 I	授業形態	実習	区 分	選択必修
年 次	1 年次	時 期	前期	担 当	企業
授業回数	105 回	単 位	7 単位	実務家	
授業目的 概 要	<p>【目的】 ホテル業務の理解と併せて、協調性、社会性を身に付ける。</p> <p>【概要】 料飲部門や宿泊部門の現場を体感し、業界への理解を深める。</p>				
到達目標	インターンシップ体験を通して、職業人としての意識を育成し、将来のホテル業界で活躍するための基礎能力を習得する。				
授業内容	回 01 : インターンシップオリエンテーション 02~27 : インターンシップ研修① 28~53 : インターンシップ研修② 54~79 : インターンシップ研修③ 80~105 : インターンシップ研修④	回			
テキスト 参考文献	なし				
成績基準	評価シート				
準備学習の 内 容	社会人としての心構え、身だしなみ、マナー、実習内容の確認				

Syllabus

					学科名
授業科目	ブライダル演習	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	1年次	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	30回	単位	2単位	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 身に付けたブライダルの基本知識を形にして、今後の勉強につなげる。</p> <p>【概要】 模擬挙式の企画から準備、実施まで行う。</p>				
到達目標	今まで学んできたことを披露する模擬挙式を行う。				
授業内容	<p>回</p> <p>01～06 : 企画作成</p> <p>07～14 : 情報共有・ : 修正</p> <p>15～27 : 本番準備</p> <p>28～29 : 本番</p> <p>30 : 総まとめ</p>				
テキスト 参考文献	なし				
成績基準	授業態度・課題を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

Syllabus

					学科名
授業科目	サービス接遇 I	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1年次	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	30回	単位	2単位	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 ビジネスでのサービス接遇の具体的な考え方、行動の仕方、マナー全般の知識の習得をする。</p> <p>【概要】 テキストや問題演習を実施し、試験の合格および知識の定着を図る。</p>				
到達目標	サービス接遇検定合格レベルの知識を習得し、その受験合格を目指す。				
授業内容	回 01：サービススタッフの資質① 02：サービススタッフの資質② 03：サービススタッフの資質③ 04：サービススタッフの資質④ 05：専門知識① 06：専門知識② 07：専門知識③ 08：専門知識④ 09：一般知識① 10：一般知識② 11：一般知識③ 12：一般知識④ 13：対人技能① 14：対人技能② 15：対人技能③		回 16：対人技能④ 17：実務技能① 18：実務技能② 19：実務技能③ 20：実務技能④ 21：問題演習① 22：問題演習② 23：問題演習③ 24：問題演習④ 25：問題演習⑤ 26：問題演習⑥ 27：問題演習⑦ 28：問題演習⑧ 29：問題演習⑨ 30：総まとめ		
テキスト 参考文献	テキスト・参考書				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

Syllabus

					学科名
授業科目	コミュニケーション技能実践	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	1年次	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	30回	単位	2単位	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 人前で話をする場を増やすことにより、経験を増やす。</p> <p>【概要】 パワーポイントやKey Notesを使用し、プレゼンテーションを作成し、実施</p>				
到達目標	タブレットを使用し、人前で堂々とプレゼンテーションができる能力を身に付ける。				
授業内容	回 01：プレゼンテーション作成① 02：プレゼンテーション作成② 03：プレゼンテーション発表準備① 04：第1回プレゼンテーション① 05：第1回プレゼンテーション② 06：第1回プレゼンテーション③ 07：プレゼンテーション作成③ 08：プレゼンテーション作成④ 09：プレゼンテーション発表準備② 10：第2回プレゼンテーション① 11：第2回プレゼンテーション② 12：第2回プレゼンテーション③ 13：プレゼンテーション作成⑤ 14：プレゼンテーション作成⑥ 15：プレゼンテーション発表準備③	回 16：第3回プレゼンテーション① 17：第3回プレゼンテーション② 18：第3回プレゼンテーション③ 19：プレゼンテーション作成⑦ 20：プレゼンテーション作成⑧ 21：プレゼンテーション発表準備④ 22：第4回プレゼンテーション① 23：第4回プレゼンテーション② 24：第4回プレゼンテーション③ 25：プレゼンテーション作成⑨ 26：プレゼンテーション作成⑩ 27：プレゼンテーション発表準備⑤ 28：第5回プレゼンテーション① 29：第5回プレゼンテーション② 30：第5回プレゼンテーション③			
テキスト 参考文献	なし				
成績基準	授業態度・評価シートを総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

Syllabus

					学科名
授業科目	キャリアデザイン基礎Ⅱ	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	1年次	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	30回	単位	2単位	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 就職活動を行うために必要な能力の向上と就職活動準備</p> <p>【概要】 企業研究を行い、その後面接練習を実施</p>				
到達目標	就職活動として、企業研究から面接練習まで行う。				
授業内容	回 01：就職対策①（企業研究） 02：就職対策② 03：就職対策③ 04：就職対策④ 05：就職対策⑤ 06：就職対策⑥ 07：就職対策⑦ 08：就職対策⑧ 09：就職対策⑨ 10：就職対策⑩ 11：就職対策⑪ 12：就職対策⑫ 13：就職対策⑬ 14：就職対策⑭ 15：就職対策⑮	回 16：就職対策⑯（面接練習） 17：就職対策⑰ 18：就職対策⑱ 19：就職対策⑲ 20：就職対策⑳ 21：就職対策㉑ 22：就職対策㉒ 23：就職対策㉓ 24：就職対策㉔ 25：就職対策㉕ 26：就職対策㉖ 27：就職対策㉗ 28：就職対策㉘ 29：就職対策㉙ 30：総まとめ			
テキスト 参考文献	なし				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

Syllabus

					学科名
授業科目	ブライダルコーディネート I	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1年次	時期	後期	担当	外部講師
授業回数	15回	単位	1単位	実務家	○
授業目的 概要	<p>【目的】 本授業はウェディングプランナー、ブライダルコーディネーターとして文化の担い手として、お客様のニーズをくみ取り、お客様にあったプランニングを提案、商品を提供するエキスパートを育成することを目的とする。</p> <p>【概要】 一般常識のみならず、文化、法令、慣習、宗教、儀礼、作法等に関する幅広い知識、また結婚及び結婚式・披露宴に関わる専門知識の習得。</p>				
到達目標	ブライダルコーディネート技能検定試験に合格 コーディネーターに必要な企画・提案力を身につける				
授業内容	回 01：概要 02：スタンダード応用① 03：スタンダード応用② 04：スタンダード応用③ 05：スタンダード応用④ 06：スタンダード応用⑤ 07：スタンダード応用⑥ 08：スタンダード応用⑦ 09：スタンダード応用⑧ 10：スタンダード応用⑨ 11：スタンダード応用⑩ 12：スタンダード応用⑪ 13：スタンダード応用⑫ 14：スタンダード応用⑬ 15：総まとめ				
テキスト 参考文献	テキスト・参考書				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

Syllabus

					学科名
授業科目	ブライダルコーディネートⅡ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1年次	時期	後期	担当	外部講師
授業回数	15回	単位	1単位	実務家	○
授業目的 概要	<p>【目的】 ブライダルコーディネートⅠの授業で得た知識を基に、公益社団法人日本ブライダル文化振興協会「ブライダルコーディネート技能検定3級」に合格することを目的とする。</p> <p>【概要】 検定3級の出題範囲に沿って、重要ポイントの解説と過去問演習を通して、試験に必要な知識を効率よく定着させるとともに、現場の動きの実習にて身に着ける。</p>				
到達目標	ブライダルコーディネート技能検定試験に合格 コーディネーターに必要な企画・提案力を身につける				
授業内容	回 01：過去問題① 02：過去問題② 03：過去問題③ 04：過去問題④ 05：過去問題⑤ 06：過去問題⑥ 07：過去問題⑦ 08：過去問題⑧ 09：過去問題⑨ 10：過去問題⑩ 11：実技試験対策① 12：実技試験対策② 13：実技試験対策③ 14：実技試験対策④ 15：総まとめ				
テキスト 参考文献	テキスト・参考書				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

Syllabus

					学科名
授業科目	ビジネスマナー基礎	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	1年次	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15回	単位	1単位	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 職場でのルール・マナーや立ち居振る舞い、電話応対など社会人として必要なビジネスマナーを身につける。</p> <p>【概要】 社会人としての心構えをはじめ、個人または集団での仕事の進め方、報告・連絡・相談の必要性を理解する。また、電話のかけ方をロールプレイング形式で繰り返し練習し修得する。</p>				
到達目標	職場のマナー、挨拶と敬語、電話応対、接遇マナーを身につけている。				
授業内容	<p>回</p> <p>01：挨拶、言葉遣い</p> <p>02：笑顔、礼、歩き方、正しい姿勢</p> <p>03：電話の掛け方</p> <p>04：電話の掛け方/演習 1</p> <p>05：電話の掛け方/演習 2</p> <p>06：入退室、立居振る舞い/演習 1</p> <p>07：電話の掛け方/演習 3</p> <p>08：電話の掛け方/演習 4</p> <p>09：入退室、立居振る舞い/演習 2</p> <p>10：電話の掛け方/演習 5</p> <p>11：電話の掛け方/演習 6</p> <p>12：入退室、立居振る舞い/演習 3</p> <p>13：総合演習 1</p> <p>14：総合演習 2</p> <p>15：総まとめ</p>				
テキスト 参考文献	プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

Syllabus

					学科名
授業科目	パソコン基礎	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1年次	時期	後期	担当	本園教職員
授業回数	15回	単位	1単位	実務家	
授業目的 概要	【目的】タイピング操作能力を身につけ、ホテル業界で業務としてこなす能力を身につける。 【概要】日本語の言葉の理解も合わせて行う。				
到達目標	社会人としてふさわしい能力を身につける。				
授業内容	回 01：タイピング① 02：タイピング② 03：タイピング③ 04：タイピング④ 05：タイピング⑤ 06：タイピング⑥ 07：タイピング⑦ 08：タイピング⑧ 09：タイピング⑨ 10：タイピング⑩ 11：タイピング⑪ 12：タイピング⑫ 13：タイピング⑬ 14：タイピング⑭ 15：総まとめ				
テキスト 参考文献	テキスト・参考書				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

Syllabus

					学科名
授業科目	ウェディングプランナー	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	1年次	時期	後期	担当	外部講師
授業回数	45回	単位	3単位	実務家	○
授業目的 概要	<p>【目的】 前期ブライダルビジネスで得た知識をもとに模擬挙式の企画・運営を通じて、チームワーク、企画力、実行力を実践的に身につけ、現場で求められる即戦力としての基盤を形成する。</p> <p>【概要】 学んだ知識を生かして模擬結婚式を企画・運営し、実践力を身につける。</p>				
到達目標	模擬挙式の流れを身に付ける。				
授業内容	回 01：前期まとめ 02：外部講師「ドレスコーディネーター」 03：外部講師「ドレスコーディネーター」 04：挙式プランニング 05：WS 準備 チーム 担当決め 06：WS 準備 チーム 担当決め 07：WS 準備 人前式プランニング 08：WS 準備 人前式プランニング 09：WS 準備 衣装決定 10：WS 準備 アイテム類リストアップ 11：WS 準備 アイテム類リストアップ 12～15：WS 準備 買い出し 16：WS 準備 会場見学 17：WS 準備 BGM 決定 18：WS 準備 動画作成	回 19～24：WS 準備 アイテム類作成 25：WS 準備 司会コメントチェック 26：WS 準備 司会コメントチェック 27：WS 準備 司会コメントチェック 28：WS 準備 読み合わせ 29：WS 準備 読み合わせ 30：WS 準備 読み合わせ 31～42：WS 準備 リハーサル 43：WS 準備 会場設営 44：WS 開催 45：WS 開催			
テキスト 参考文献	テキスト・参考書				
成績基準	授業態度・評価シートを総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

Syllabus

					学科名
授業科目	ビジネス日本語基礎Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1年次	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	30回	単位	2単位	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】日本語の文法や語彙を学ぶだけでなく、伝統文化や歴史等を理解しながら日本社会で生きていくための会話行動センスを身に付ける</p> <p>【概要】ニュース素材（政治、経済、社会、国際情勢、季節の話題など）を取り上げながら、関連する背景知識を学び、ロールプレイを通して日本に対する理解を深める</p>				
到達目標	<p>1. 日本の年中行事、国民の祝日、伝統文化とその背景を理解する</p> <p>2. 敬語の使い分け、話し言葉と書き言葉の違いを理解し表現する</p> <p>3. おもてなし（他者への配慮）の精神を作法と日本語で表現する</p> <p>4. 季節の話題を盛り込んだ挨拶、日常会話ができる</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：ニュース素材 31、ロールプレイ 31</p> <p>02：ニュース素材 32、ロールプレイ 32</p> <p>03：ニュース素材 33、ロールプレイ 33</p> <p>04：ニュース素材 34、ロールプレイ 34</p> <p>05：ニュース素材 35、ロールプレイ 35</p> <p>06：ニュース素材 36、ロールプレイ 36</p> <p>07：ニュース素材 37、ロールプレイ 37</p> <p>08：ニュース素材 38、ロールプレイ 38</p> <p>09：ニュース素材 39、ロールプレイ 39</p> <p>10：ニュース素材 40、ロールプレイ 40</p> <p>11：ニュース素材 41、ロールプレイ 41</p> <p>12：ニュース素材 42、ロールプレイ 42</p> <p>13：ニュース素材 43、ロールプレイ 43</p> <p>14：ニュース素材 44、ロールプレイ 44</p> <p>15：ニュース素材 45、ロールプレイ 45</p>	<p>回</p> <p>16：ニュース素材 46、ロールプレイ 46</p> <p>17：ニュース素材 47、ロールプレイ 47</p> <p>18：ニュース素材 48、ロールプレイ 48</p> <p>19：ニュース素材 49、ロールプレイ 49</p> <p>20：ニュース素材 50、ロールプレイ 50</p> <p>21：ニュース素材 51、ロールプレイ 51</p> <p>22：ニュース素材 52、ロールプレイ 52</p> <p>23：ニュース素材 53、ロールプレイ 53</p> <p>24：ニュース素材 54、ロールプレイ 54</p> <p>25：ニュース素材 55、ロールプレイ 55</p> <p>26：ニュース素材 56、ロールプレイ 56</p> <p>27：ニュース素材 57、ロールプレイ 57</p> <p>28：ニュース素材 58、ロールプレイ 58</p> <p>29：ニュース素材 59、ロールプレイ 59</p> <p>30：総まとめ</p>			
テキスト 参考文献	テキスト・参考書				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	毎日の生活の中で読めなかった漢字、意味が分からない日本語、聞き取れなかった言葉を記録するための「日本語ノート」を用意すること				

Syllabus

					学科名
授業科目	日本文化概論Ⅱ	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	1年次	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15回	単位	1単位	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】「ビジネス日本語基礎Ⅱ」で学んだ知識について、問題演習を通して定着させる</p> <p>【概要】日本語能力試験（JLPT）N2、N1レベルの練習問題を活用し、問題文の背景を理解しながら日本語能力を向上する</p>				
到達目標	<p>1. 日本語能力試験（JLPT）N1 合格</p> <p>2. 日本語能力試験（JLPT）N2 合格</p> <p>3. 日本語能力試験（JLPT）N3 合格</p> <p>4. 季節の話題を盛り込んだ挨拶、日常会話ができる</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：文字語彙 16、文法 16、ドリル 16</p> <p>02：文字語彙 17、文法 17、ドリル 17</p> <p>03：文字語彙 18、文法 18、ドリル 18</p> <p>04：文字語彙 19、文法 19、ドリル 19</p> <p>05：文字語彙 20、文法 20、ドリル 20</p> <p>06：文字語彙 21、文法 21、ドリル 21</p> <p>07：文字語彙 22、文法 22、ドリル 22</p> <p>08：文字語彙 23、文法 23、ドリル 23</p> <p>09：文字語彙 24、文法 24、ドリル 24</p> <p>10：文字語彙 25、文法 25、ドリル 25</p> <p>11：文字語彙 26、文法 26、ドリル 26</p> <p>12：文字語彙 27、文法 27、ドリル 27</p> <p>13：文字語彙 28、文法 28、ドリル 28</p> <p>14：文字語彙 29、文法 29、ドリル 29</p> <p>15：総まとめ</p>				
テキスト 参考文献	テキスト・参考書				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	毎日の生活の中で読めなかった漢字、意味が分からない日本語、聞き取れなかった言葉を記録するための「日本語ノート」を用意すること				

Syllabus

					学科名
授業科目	ホテルビジネス総論	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1年次	時期	後期	担当	外部講師
授業回数	15回	単位	2単位	実務家	○
授業目的 概要	<p>【目的】 ホテルビジネスには、ビジネスヒントが多く詰まっている。マネージメントを体系的に学ぶことで、実社会でのビジネススキルの獲得や即戦力としての行動ができるよう促す。</p> <p>【概要】 ホテルビジネス基礎編を通して、主管部署のあり方を、パワーポイントなどの活用により目で見て実感できるよう考えさせホテルビジネスの楽しさを学ばせる。</p>				
到達目標	ホテルビジネスの実態や面白みを理解し、自分なりの働く姿を想定し、接客サービスについての自分自身の考えを構築させる。				
授業内容	<p>回</p> <p>01：自己紹介（ホテル現状と将来）</p> <p>02：ホテルとは、</p> <p>03：ホテルの主管部署「宿泊①」</p> <p>04：ホテルの主管部署「宿泊②」</p> <p>05：ホテルの主管部署「料飲①」</p> <p>06：ホテルの主管部署「料飲②」</p> <p>07：ホテルの主管部署「料飲③」</p> <p>08：ホテルの主管部署「宴会①」</p> <p>09：ホテルの主管部署「宴会②」</p> <p>10：ホテルの主管部署「婚礼・調理」</p> <p>11：ホテルの主管部署「営業セールス」</p> <p>12：ホテルの主管部署「マーケティング」</p> <p>13：ホテルの主管部署「ハートオブハウス」</p> <p>14：ホテルビジネス論まとめ</p> <p>15：総まとめ</p>				
テキスト 参考文献	テキスト・参考書				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

Syllabus

					学科名
授業科目	ホテルビジネス I	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1年次	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15回	単位	1単位	実務家	
授業目的 概要	【目的】ホテル業界で必要とされるホテルビジネス実務に関する知識を習得し、合わせて社会情勢に関する知識も習得する				
到達目標	ホテルビジネス実務検定2級及び1級合格レベルの知識を習得し、その受験合格を目指す。				
授業内容	回 01：世界の観光産業 02：世界の宿泊産業 03：日本の観光産業 04：ホテルの定義 05：ホテル産業の分類 06：ホテルの組織 07：国際的な習慣 08：ホスピタリティ 09：ホテル関連知識 10：ホテル英語の基本 11：宿泊商品の特性 12：組織と業務役割 13：宿泊部門の基礎知識 14：宿泊部門担当者の業務 15：総まとめ				
テキスト 参考文献	テキスト・参考書				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

Syllabus

					学科名
授業科目	ホテルビジネスⅡ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1年次	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	30回	単位	2単位	実務家	
授業目的 概要	【目的】ホテル業界で必要とされるホテルビジネス実務に関する知識を習得し、合わせて社会情勢に関する知識も習得する				
到達目標	ホテルビジネス実務検定2級及び1級合格レベルの知識を習得し、その受験合格を目指す。				
授業内容	回 01：料飲部門の特性 02：料飲部門の組織と業務役割 03：料飲部門の基礎知識 04：料飲部門の担当者の業務 05：宴会商品の特性 06：宴会部門の組織と業務役割 07：宴会部門の基礎知識 08：宴会部門の担当者の業務 09：調理部門の特性 10：調理部門の組織と業務役割 11：調理部門の基礎知識 12：西洋料理の担当者の業務 13：マーケティング部門の組織と業務役割 14：売上予算作成業務 15：マーケティング部門の基礎知識	回 16：マーケティング部門の担当者の業務 17：総務・人事部門の組織と業務役割 18：総務・人事部門の基礎知識 19：総務・人事部門の業務実務 20：施設管理部門の組織と業務役割 21：施設管理部門の基礎知識 22：施設管理部門の関連法令 23：施設管理部門の関係資格 24：仕入・購買部門の組織と業務役割 25：仕入・購買部門の基礎知識 26：仕入・購買部門の担当者の業務 27：経理・会計部門の組織と業務役割 28：経理・会計部門の基礎知識 29：経理・会計部門の担当者の業務 30：総まとめ			
テキスト 参考文献	テキスト・参考書				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

Syllabus

					学科名
授業科目	ホテル実務Ⅱ	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	1年次	時期	後期	担当	外部講師
授業回数	15回	単位	2単位	実務家	○
授業目的	【目的】 レストランサービスにおける基本動作・ホスピタリティ・サービス技術の習得				
概要	【概要】 HRS レストランサービス・スタンダードマニュアル教本にて、レストランサービス技能検定3級技能士、取得に向けて実技指導を行う。 インターンシップに向けて、サービス技術の基本動作を学ぶ。				
到達目標	ホテルS1グランプリに向けて、ドリンクサービス技術の習得（11月実施） レストランサービス3級技能検定、実技課題の習得（2年、11月実施）				
授業内容	回 01：ホテルS1グランプリに向けて 02：ホテルS1グランプリに向けて 03：ホテルS1グランプリに向けて 04：ホテルS1グランプリに向けて 05：ホテルS1グランプリに向けて 06：ホテルS1グランプリ開催 07：ホテルS1グランプリ開催 08：フルーツのデクパージュ 09：デザートの花飾パージュ 10：レストランサービス3級実技試験対策 11：レストランサービス3級実技試験対策 12：レストランサービス3級実技試験対策 13：レストランサービス3級実技試験対策 14：レストランサービス3級実技試験対策 15：レストランサービス3級実技試験対策				
テキスト 参考文献	テキスト・参考書				
成績基準	授業態度・評価シートを総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	授業の振り返り、普段の日常生活にてホテル・レストランサービスに興味を持つこと				

Syllabus

					学科名
授業科目	ブライダル実習 I	授業形態	演習	区 分	選択必修
年 次	2 年次	時 期	前期	担 当	外部講師
授業回数	45 回	単 位	3 単位	実務家	○
授業目的 概 要	<p>【目的】 模擬挙式・模擬披露宴の企画・運営を通じて、ホスピタリティマインドとコミュニケーション能力を育成し、よりチームワーク、企画力、実行力を実践的に身につけ、現場で求められる即戦力としての基盤を形成する。</p> <p>【概要】 学んだ知識を生かして模擬結婚式・披露宴を企画・運営し、実践力を身につける。</p>				
到達目標	模擬挙式・模擬披露宴のオペレーションを行えるようにする。				
授業内容	回 01：チーム 担当決め 02：チーム 担当決め 03：テーマ決定 04～06 場見学 07：リネン類決定 08：ケーキ発注 09～10 ドレス決定 11～12：ヘアメイクレクチャー 13～14：買い出し 15～18：アイテム類作成 19～21：司会 音響 合わせ 22～24：読み合わせ 25～30：校内リハーサル	回 31～33：会場リハーサル 34～39：校内リハーサル 40～41：搬出物準備 42：最終チェック 43～45：模擬挙式・披露宴 開催			
テキスト 参考文献	なし				
成績基準	授業態度・課題を総合的に加味して評価				
準備学習の 内 容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

Syllabus

					学科名
授業科目	ビジネス日本語応用	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	2年次	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	30回	単位	2単位	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】日本語の文法や語彙を学ぶだけでなく、伝統文化や歴史等を理解しながら日本社会で生きていくための会話行動センスを身に付ける</p> <p>【概要】ニュース素材（政治、経済、社会、国際情勢、季節の話題など）を取り上げながら、関連する背景知識を学び、ロールプレイを通して日本に対する理解を深める</p>				
到達目標	<p>1. 日本の地理風土を理解する：都道府県の特徴、東北や北陸などの地方名とその特徴</p> <p>2. 桁数の大きな数字（億や兆の単位）が読める、書ける、発音できる</p> <p>3. 政治、経済、国際情勢について日本語で議論できる</p> <p>4. 社会生活の中で状況に応じて敬語を使い分けられる</p>				
授業内容	回 01：ニュース素材 1、ロールプレイ 1 02：ニュース素材 2、ロールプレイ 2 03：ニュース素材 3、ロールプレイ 3 04：ニュース素材 4、ロールプレイ 4 05：ニュース素材 5、ロールプレイ 5 06：ニュース素材 6、ロールプレイ 6 07：ニュース素材 7、ロールプレイ 7 08：ニュース素材 8、ロールプレイ 8 09：ニュース素材 9、ロールプレイ 9 10：ニュース素材 10、ロールプレイ 10 11：ニュース素材 11、ロールプレイ 11 12：ニュース素材 12、ロールプレイ 12 13：ニュース素材 13、ロールプレイ 13 14：ニュース素材 14、ロールプレイ 14 15：ニュース素材 15、ロールプレイ 15	回 16：ニュース素材 16、ロールプレイ 16 17：ニュース素材 17、ロールプレイ 17 18：ニュース素材 18、ロールプレイ 18 19：ニュース素材 19、ロールプレイ 19 20：ニュース素材 20、ロールプレイ 20 21：ニュース素材 21、ロールプレイ 21 22：ニュース素材 22、ロールプレイ 22 23：ニュース素材 23、ロールプレイ 23 24：ニュース素材 24、ロールプレイ 24 25：ニュース素材 25、ロールプレイ 25 26：ニュース素材 26、ロールプレイ 26 27：ニュース素材 27、ロールプレイ 27 28：ニュース素材 28、ロールプレイ 28 29：ニュース素材 29、ロールプレイ 29 30：総まとめ			
テキスト 参考文献	テキスト・参考書				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	毎日の生活の中で読めなかった漢字、意味が分からない日本語、聞き取れなかった言葉を記録するための「日本語ノート」を用意すること				

Syllabus

					学科名
授業科目	日本文化演習	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	2年次	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15回	単位	1単位	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】「ビジネス日本語応用」で学んだ知識について、問題演習を通して定着させる</p> <p>【概要】日本語能力試験（JLPT）N2、N1レベルの練習問題を活用し、問題文の背景を理解しながら日本語能力を向上する</p>				
到達目標	<p>1. 日本語能力試験（JLPT）N1 合格</p> <p>2. 日本語能力試験（JLPT）N2 合格</p> <p>3. 日本語能力試験（JLPT）N3 合格</p> <p>4. 季節の話題を盛り込んだ挨拶、日常会話ができる</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：文字語彙 1、文法 1、ドリル 1</p> <p>02：文字語彙 2、文法 2、ドリル 2</p> <p>03：文字語彙 3、文法 3、ドリル 3</p> <p>04：文字語彙 4、文法 4、ドリル 4</p> <p>05：文字語彙 5、文法 5、ドリル 5</p> <p>06：文字語彙 6、文法 6、ドリル 6</p> <p>07：文字語彙 7、文法 7、ドリル 7</p> <p>08：文字語彙 8、文法 8、ドリル 8</p> <p>09：文字語彙 9、文法 9、ドリル 9</p> <p>10：文字語彙 10、文法 10、ドリル 10</p> <p>11：文字語彙 11、文法 11、ドリル 11</p> <p>12：文字語彙 12、文法 12、ドリル 12</p> <p>13：文字語彙 13、文法 13、ドリル 13</p> <p>14：文字語彙 14、文法 14、ドリル 14</p> <p>15：総まとめ</p>				
テキスト 参考文献	テキスト・参考書				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	毎日の生活の中で読めなかった漢字、意味が分からない日本語、聞き取れなかった言葉を記録するための「日本語ノート」を用意すること				

Syllabus

					学科名
授業科目	マナープロトコール	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	2年次	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15回	単位	1単位	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 ビジネスマナーやプロトコールなどマナー全般の知識の習得をする。</p> <p>【概要】 テキストや問題演習を実施し、試験の合格および知識の定着を図る。</p>				
到達目標	マナープロトコール検定合格レベルの知識を習得し、その受験合格を目指す。				
授業内容	<p>回</p> <p>01：第1章 マナーの歴史と意味</p> <p>02：第2章 国際人としてのプロトコール</p> <p>03：第3章 社会人に必要なマナー①</p> <p>04：第3章 社会人に必要なマナー②</p> <p>05：第4章 ビジネスシーンのマナー①</p> <p>06：第4章 ビジネスシーンのマナー②</p> <p>07：第5章 食事のマナー①</p> <p>08：第5章 食事のマナー②</p> <p>09：第7章 「冠」のしきたり</p> <p>10：第8章 「婚」のしきたり</p> <p>11：第9章 「葬」のしきたり</p> <p>12：第10章 「祭」のしきたり</p> <p>13：問題演習①</p> <p>14：問題演習②</p> <p>15：総まとめ</p>				
テキスト 参考文献	テキスト・参考書				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

Syllabus

					学科名
授業科目	マナープロトコール演習	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	2年次	時期	前期	担当	本学園職員
授業回数	30回	単位	2単位	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 ビジネスマナーやプロトコールなどマナー全般の知識の習得をする。</p> <p>【概要】 問題演習を実施し、試験の合格および知識の定着を図る。</p>				
到達目標	マナープロトコール検定合格レベルの知識を習得し、その受験合格を目指す。				
授業内容	回 01：マナーの歴史と意味 復習問題 02：国際人としてのプロトコール 復習問題 03：社会人に必要なマナー 復習問題 04：ビジネスシーンのマナー 復習問題 05：食事のマナー 復習問題 06：「冠」のしきたり 復習問題 07：「婚」のしきたり 復習問題 08：「葬」のしきたり 復習問題 09：「祭」のしきたり 復習問題 10：問題演習① 11：問題演習② 12：問題演習③ 13：問題演習④ 14：問題演習⑤ 15：問題演習⑥	回 16：問題演習⑦ 17：問題演習⑧ 18：問題演習⑨ 19：問題演習⑩ 20：問題演習⑪ 21：問題演習⑫ 22：問題演習⑬ 23：問題演習⑭ 24：問題演習⑮ 25：問題演習⑯ 26：問題演習⑰ 27：問題演習⑱ 28：問題演習⑲ 29：問題演習⑳ 30：総まとめ			
テキスト 参考文献	テキスト・参考書				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

Syllabus

					学科名
授業科目	レストランサービス I	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	2年次	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	45回	単位	3単位	実務家	
授業目的 概要	【目的】 レストランサービス、法律、食品に関する知識を身につけ、ホテルやブライダル業界に就職後職場で実践できるようにする。併せて、レストランサービス技能検定試験3級（学科）の合格を目指す。				
到達目標	ホテルレストラン業務の基礎を学び、ホスピタリティやサービス知識を身につける。				
授業内容	回 01～02：食品、西洋料理に使用される食材 03～04：西洋料理調理法、飲料の種類 05～06：メニュー、用具・備品 07：食材・飲料等のまとめ 08～09：料飲サービスの役割と特徴 10～11：料飲サービスを支える条件、資質 12：接客のまとめ 13～14：宴会とレストラン 15～16：客席案内、注文 17～18：テーブルサービス、ワゴンサービス 19～20：予約、メニュー管理 21～22：料理、食器等の異常と救護方法 23～24：食事のサービスマナーと国際習慣 25：宴会とレストランのまとめ 26～27：食文化と食環境	回 28～29：食事作法と西洋料理の変遷 30：食文化のまとめ 31～32：施設知識と防災 33～34：施設の維持管理、苦情対応 35～36：お客様への対応、遺失物の取扱い 37：施設管理と苦情対応のまとめ 38～39：食品衛生と公衆衛生 40～41：食品衛生法、労働災害 42～43：危険有害性、労働安全衛生 44：食品衛生と安全衛生のまとめ 45：総まとめ			
テキスト 参考文献	テキスト・参考書				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

Syllabus

					学科名
授業科目	HRS 演習	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	2年次	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	45回	単位	3単位	実務家	
授業目的 概要	【目的】 レストランサービス、法律、食品に関する知識を身につけ、ホテルやブライダル業界に就職後職場で実践できるようにする。併せて、レストランサービス技能検定試験3級（学科）の合格を目指す。				
到達目標	ホテルレストラン業務の基礎を学び、ホスピタリティやサービス知識を身につける。				
授業内容	回 01～04：演習「食材・料飲等の基礎知識」 05～08：演習「接客の基本」 09～12：演習「宴会とレストランサービス」 13～16：演習「食文化」 17～20：演習「施設管理」 21～24：演習「苦情対応と遺失物の取扱い」 26～28：演習「食品衛生および公衆衛生」 29～32：演習「安全衛生」 33～44：演習「HRS 過去問題」 45：総まとめ				
テキスト 参考文献	テキスト・参考書				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

Syllabus

					学科名
授業科目	ホテル実務Ⅲ	授業形態	実習	区分	選択必修
年次	2年次	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	30回	単位	2単位	実務家	
授業目的 概要	【目的】 レストランサービス、法律、食品に関する知識を身につけ、ホテルやブライダル業界に就職後職場で実践できるようにする。また、カクテルやデザートなど難易度の高いサービスの基礎力の養成も行う。				
到達目標	ホテルレストラン業務の基礎を学び、ホスピタリティやサービス知識を身につける。				
授業内容	回 01： レストランサービスの実習 1 02： レストランサービスの実習 2 03： レストランサービスの実習 3 04： レストランサービスの実習 4 05： レストランサービスの実習 5 06： カクテル実習 1 07： カクテル実習 2 08： カクテル実習 3 09： カクテル実習 4 10： デザートサービス実習 1 11： デザートサービス実習 2 12： デザートサービス実習 3 13： デザートサービス実習 4 14： デザートサービス実習 5 15： 総まとめ				
テキスト 参考文献	テキスト・参考書				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

Syllabus

					学科名
授業科目	レストランサービスⅡ	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	2年次	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15回	単位	1単位	実務家	
授業目的 概要	【目的】 レストランサービス、法律、食品に関する知識を身につけ、ホテルやブライダル業界に就職後職場で実践できるようにする。併せて、レストランサービス技能検定試験3級（実技）の合格を目指す。				
到達目標	ホテルレストラン業務の基礎を学び、ホスピタリティやサービス知識を身につける。				
授業内容	回 01：実技試験の概要について 02：項目別練習「客席誘導、メニューの提示」 03：項目別練習「水のサービスと注文」 04：項目別練習「テーブルセッティング」 05：項目別練習「飲物・料理等のサービス」 06：項目別練習「食器の下げ」 07：項目別練習「お見送り」 08：項目別練習「テーブルのリセット」 09：項目別練習のまとめ 10：総合演習1 11：総合演習2 12：総合演習3 13：総合演習4 14：総合演習5 15：総まとめ				
テキスト 参考文献	テキスト・参考書				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

Syllabus

					学科名
授業科目	ホテル実務Ⅳ	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	2年次	時期	後期	担当	本学園職員
授業回数	15回	単位	2単位	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 バーテンダーの業務について理解を深め、コンテストを通じてスキルアップを目指す。</p> <p>【概要】 オリジナルカクテルの作成やコンテスト運営を通じて、チームワーク向上と料飲のスキルアップを行う。</p>				
到達目標	料飲の演習を通し、サービスのスキルを上げる。				
授業内容	回 01：基礎知識 02：オリジナルカクテル演習① 03：オリジナルカクテル演習② 04：オリジナルカクテル演習③ 05：オリジナルカクテル演習④ 06：オリジナルカクテル演習⑤ 07：オリジナルカクテル演習⑥ 08：オリジナルカクテル演習⑦ 09：オリジナルカクテル演習⑧ 10：オリジナルカクテル演習⑨ 11：オリジナルカクテル演習⑩ 12：オリジナルカクテル演習⑪ 13：オリジナルカクテル演習⑫ 14：オリジナルカクテル演習⑬ 15：総まとめ				
テキスト 参考文献	テキスト・参考書				
成績基準	授業態度・課題を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	使用テキストの確認				

Syllabus

ホテル・ブライダル科					
授業科目	職場の基礎能力	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1年次	時期	前期	担当	本学園職員
授業回数	15回	単位	1単位	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 職場で必要とされる基礎能力を身に付ける。</p> <p>【概要】 4つの職場能力の知識を入学当初に学ぶ。</p>				
到達目標	<p>学園主催の職場能力検定（自己管理力・協調行動力・IT活用力・海外行動力）の合格を目指すとともに、入社後に必要とされる知識を身に付ける。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：自己管理力①</p> <p>02：自己管理力②</p> <p>03：自己管理力③</p> <p>04：自己管理力④</p> <p>05：協調行動力①</p> <p>06：協調行動力②</p> <p>07：協調行動力③</p> <p>08：IT活用力①</p> <p>09：IT活用力②</p> <p>10：IT活用力③</p> <p>11：IT活用力④</p> <p>12：海外行動力①</p> <p>13：海外行動力②</p> <p>14：海外行動力③</p> <p>15：海外行動力④</p>				
テキスト 参考文献	プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること				

Syllabus

					学科名
授業科目	コミュニケーション基礎	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	1年次	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	30回	単位	2単位	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 基本的なプレゼンテーション技術を学び、実際にプレゼンテーションを通して習得する</p> <p>【概要】 プレゼンテーションの基礎知識を学習し、経験を重ねることで基本的なプレゼンテーションを出来るようにする</p>				
到達目標	基本的なプレゼンテーションの基礎知識や技術を習得し、様々なツールを活用してプレゼンテーションを数回実施することでプレゼンテーション能力を身に付ける				
授業内容	回 01：プレゼンテーションの基本 02：プレゼンテーション準備① 03：プレゼンテーション発表① 04：プレゼンテーション準備② 05：プレゼンテーション発表② 06：プレゼンテーション準備③ 07：プレゼンテーション発表③ 08：プレゼンテーション準備④ 09：プレゼンテーション発表④ 10：プレゼンテーション準備⑤ 11：プレゼンテーション発表⑤ 12：プレゼンテーション準備⑥ 13：プレゼンテーション発表⑥ 14：プレゼンテーション準備⑦ 15：プレゼンテーション発表⑦		回 16：プレゼンテーション準備⑧ 17：プレゼンテーション発表⑧ 18：プレゼンテーション準備⑨ 19：プレゼンテーション発表⑨ 20：プレゼンテーション準備⑩ 21：プレゼンテーション発表⑩ 22：プレゼンテーション準備⑪ 23：プレゼンテーション発表⑪ 24：プレゼンテーション準備⑫ 25：プレゼンテーション発表⑫ 26：プレゼンテーション準備⑬ 27：プレゼンテーション発表⑬ 28：プレゼンテーション準備⑭ 29：プレゼンテーション発表⑭ 30：プレゼンテーションコンテスト		
テキスト 参考文献	テキスト・参考書				
成績基準	授業態度・評価シートを総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること				

Syllabus

学科名					
授業科目	コミュニケーション技能	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	1年次	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15回	単位	2単位	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 就職試験対策として、グループディスカッション練習を行う</p> <p>【概要】 就職活動で必要な知識を習得し、就職内定に向けた準備を行う</p>				
到達目標	<p>テーマが様々で対策がとりづらいと言われるグループディスカッション対策をすることにより、他の就職活動生と差をつける</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：グループディスカッション 基礎</p> <p>02：グループディスカッション 実践①</p> <p>03：グループディスカッション 実践②</p> <p>04：グループディスカッション 実践③</p> <p>05：グループディスカッション 実践④</p> <p>06：グループディスカッション 実践⑤</p> <p>07：グループディスカッション 実践⑥</p> <p>08：グループディスカッション 実践⑦</p> <p>09：グループディスカッション 実践⑧</p> <p>10：グループディスカッション 実践⑨</p> <p>11：グループディスカッション 実践⑩</p> <p>12：グループディスカッション 実践⑪</p> <p>13：グループディスカッション 実践⑫</p> <p>14：グループディスカッション 実践⑬</p> <p>15：総まとめ</p>				
テキスト 参考文献	テキスト・参考書				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること				

Syllabus

					学科名
授業科目	キャリアデザイン基礎 I	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1年次	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15回	単位	2単位	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 内定獲得に向けて、進路を決め就職活動準備を行う</p> <p>【概要】 履歴書、面接練習を行い、就職活動スタートが切れるように準備を行う</p>				
到達目標	社会に出る自覚と進路を決める				
授業内容	回 01：就職対策① 02：就職対策② 03：就職対策③ 04：就職対策④ 05：就職対策⑤ 06：就職対策⑥ 07：就職対策⑦ 08：就職対策⑧ 09：就職対策⑨ 10：就職対策⑩ 11：就職対策⑪ 12：就職対策⑫ 13：就職対策⑬ 14：就職対策⑭ 15：総まとめ				
テキスト 参考文献	テキスト・参考書				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	身だしなみを整える テキスト内容の確認				

Syllabus

					学科名
授業科目	コミュニケーション技能応用	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	1年次	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	30回	単位	2単位	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 プレゼンテーション技術を応用し、ビジネスで通用する自己表現力を習得</p> <p>【概要】 プレゼンテーション経験を積み重ねることで、プレゼンテーション能力を上げる</p>				
到達目標	コミュニケーション基礎で身に付けた基本的なプレゼンテーション能力をさらに磨きをかけ、ビジネスで通用するプレゼンテーション能力を習得する				
授業内容	回 01：プレゼンテーションの応用 02：プレゼンテーション準備① 03：プレゼンテーション発表① 04：プレゼンテーション準備② 05：プレゼンテーション発表② 06：プレゼンテーション準備③ 07：プレゼンテーション発表③ 08：プレゼンテーション準備④ 09：プレゼンテーション発表④ 10：プレゼンテーション準備⑤ 11：プレゼンテーション発表⑤ 12：プレゼンテーション準備⑥ 13：プレゼンテーション発表⑥ 14：プレゼンテーション準備⑦ 15：プレゼンテーション発表⑦	回 16：プレゼンテーション準備⑧ 17：プレゼンテーション発表⑧ 18：プレゼンテーション準備⑨ 19：プレゼンテーション発表⑨ 20：プレゼンテーション準備⑩ 21：プレゼンテーション発表⑩ 22：プレゼンテーション準備⑪ 23：プレゼンテーション発表⑪ 24：プレゼンテーション準備⑫ 25：プレゼンテーション発表⑫ 26：プレゼンテーション準備⑬ 27：プレゼンテーション発表⑬ 28：プレゼンテーション準備⑭ 29：プレゼンテーション発表⑭ 30：プレゼンテーションコンテスト			
テキスト 参考文献	テキスト・参考書				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること				

Syllabus

					学科名
授業科目	ビジネスマナー実習 I	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	1年次	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	30回	単位	2単位	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 職場でのルール・マナーや立ち居振る舞い、電話応対など社会人として必要なビジネスマナーを身につける。</p> <p>【概要】 社会人としての心構えをはじめ、個人または集団での仕事の進め方、報告・連絡・相談の必要性を理解する。また、電話のかけ方をロールプレイング形式で繰り返し練習し修得する。</p>				
到達目標	職場のマナー、挨拶と敬語、電話応対、接遇マナーを身につけている。				
授業内容	回 01：挨拶、言葉遣い1 02：挨拶、言葉遣い2 03：笑顔、礼、歩き方、正しい姿勢1 04：笑顔、礼、歩き方、正しい姿勢2 05：電話の掛け方1 06：電話の掛け方2 07：電話の掛け方/演習1 08：電話の掛け方/演習2 09：電話の掛け方/演習3 10：電話の掛け方/演習4 11：入退室、立居振る舞い/演習1 12：入退室、立居振る舞い/演習2 13：電話の掛け方/演習5 14：電話の掛け方/演習6 15：電話の掛け方/演習7	回 16：電話の掛け方/演習8 17：入退室、立居振る舞い/演習3 18：入退室、立居振る舞い/演習4 19：電話の掛け方/演習9 20：電話の掛け方/演習10 21：電話の掛け方/演習11 22：電話の掛け方/演習12 23：入退室、立居振る舞い/演習5 24：入退室、立居振る舞い/演習6 25：総合演習1 26：総合演習2 27：総合演習3 28：総合演習4 29：総合演習5 30：総まとめ			
テキスト 参考文献	プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	次の授業項目について指示した問題・作業等を実施すること				

Syllabus

					学科名
授業科目	キャリアデザイン応用	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1年	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	30回	単位	2単位	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 適切な就職活動を進めるための準備と内定獲得のための自己表現能力の向上</p> <p>【概要】 書類作成、面接対策、電話応対練習を行い、就職活動スタートをサポートする</p>				
到達目標	自己PRや志望動機などの就職活動に必要な表現力や、適切な応募書類を作成する能力を身につける				
授業内容	回 01：就職対策① 02：就職対策② 03：就職対策③ 04：就職対策④ 05：就職対策⑤ 06：就職対策⑥ 07：就職対策⑦ 08：就職対策⑧ 09：就職対策⑨ 10：就職対策⑩ 11：就職対策⑪ 12：就職対策⑫ 13：就職対策⑬ 14：就職対策⑭ 15：就職対策⑮	回 16：就職対策⑯ 17：就職対策⑰ 18：就職対策⑱ 19：就職対策⑲ 20：就職対策⑳ 21：就職対策㉑ 22：就職対策㉒ 23：就職対策㉓ 24：就職対策㉔ 25：就職対策㉕ 26：就職対策㉖ 27：就職対策㉗ 28：就職対策㉘ 29：就職対策㉙ 30：総まとめ			
テキスト 参考文献	テキスト・参考書				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること				

Syllabus

					学科名
授業科目	キャリアデザイン実践	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	2年次	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	30回	単位	2単位	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 ホテル、ブライダル業界を中心に企業への就職活動を進め内定を獲得する</p> <p>【概要】 書類作成、面接対策、アフターフォローなど臨機応変に対応する</p>				
到達目標	採用試験に合格し、希望する企業の内定を獲得する				
授業内容	回 01：就職対策① 02：就職対策② 03：就職対策③ 04：就職対策④ 05：就職対策⑤ 06：就職対策⑥ 07：就職対策⑦ 08：就職対策⑧ 09：就職対策⑨ 10：就職対策⑩ 11：就職対策⑪ 12：就職対策⑫ 13：就職対策⑬ 14：就職対策⑭ 15：就職対策⑮	回 16：就職対策⑯ 17：就職対策⑰ 18：就職対策⑱ 19：就職対策⑲ 20：就職対策⑳ 21：就職対策㉑ 22：就職対策㉒ 23：就職対策㉓ 24：就職対策㉔ 25：アフターフォロー① 26：アフターフォロー② 27：アフターフォロー③ 28：アフターフォロー④ 29：アフターフォロー⑤ 30：総まとめ			
テキスト 参考文献	テキスト・参考書				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること				

Syllabus

					学科名
授業科目	業界研究	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	2年次	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15回	単位	2単位	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 情報収集及び分析を行い、主体的にキャリアを考える</p> <p>【概要】 業界の構造や特徴を理解し、企業研究や就職活動に活用できる業界分析力を身につける</p>				
到達目標	ホテル・ブライダル業界の特徴を捉え、課題や将来性を分析し説明できるようにする				
授業内容	回 01：業界研究の概要 02：業界研究① 03：業界研究② 04：業界研究③ 05：業界研究④ 06：業界研究⑤ 07：業界研究⑥ 08：業界研究⑦ 09：業界研究⑧ 10：業界研究⑨ 11：業界研究⑩ 12：業界研究⑪ 13：業界研究⑫ 14：業界研究⑬ 15：総まとめ				
テキスト 参考文献	なし				
成績基準	授業態度・課題を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること				

Syllabus

					学科名
授業科目	ビジネスマナー実習Ⅱ	授業形態	演習	区分	必修
年次	2年次	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	45回	単位	3単位	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】ビジネスマナーについて「知っている、身につけている」から「実際に出来るようになること」入社後すぐに必要となる実践的な知識や技術を身につけておくこと。</p> <p>【概要】テキストの解説と状況設定された電話や商品説明、接遇などのロールプレイングを行い、時事問題は小テストを実施し、ロールプレイングは効果測定を各章ごとに実施する。</p>				
到達目標	<p>ビジネスマナーの基礎知識（職場マナー、挨拶・敬語）を身につけ、電話対応実務、商品説明がロールプレイング形式の試験で実践できる。</p>				
授業内容	<p>01～03：第1編 職場のマナー 04～08：第2編 挨拶と敬語 各回敬語テスト 09～12：第3編 第4編 電話対応 13～15：第5編 接遇マナー 16～20：第3編 電話対応 効果測定練習① 17：第3編 電話対応 効果測定練習①2 18：第3編 電話対応 効果測定練習①3 19：第3編 電話対応 効果測定練習①4 20：第3編 電話対応 効果測定練習①5 21～24：第4編 電話対応 効果測定練習② 25：第3編 第4編 電話対応 効果測定1 26：第3編 第4編 電話対応 効果測定2 27：第8編 商品説明1 28：第8編 商品説明2 29～37：第8編 商品説明 原稿作成 38～42：第8編 商品説明効果測定練習 43～45：総まとめ</p>				
テキスト 参考文献	プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

Syllabus

					学科名
授業科目	卒業研究 I	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	2年次	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15回	単位	2単位	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 研究活動を通じて社会人として必要な調査力、論理的思考力を養う</p> <p>【概要】 内定を得た企業を対象として、事業内容・経営戦略・将来展望について調査し分析を行い卒業研究としてまとめる</p>				
到達目標	<p>内定企業の事業や業界構造を理解し 課題、将来性を分析した後、調査結果をまとめ文章で表現する</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：卒業研究の概要</p> <p>02：卒業研究①</p> <p>03：卒業研究②</p> <p>04：卒業研究③</p> <p>05：卒業研究④</p> <p>06：卒業研究⑤</p> <p>07：卒業研究⑥</p> <p>08：卒業研究⑦</p> <p>09：卒業研究⑧</p> <p>10：卒業研究⑨</p> <p>11：卒業研究⑩</p> <p>12：卒業研究⑪</p> <p>13：卒業研究⑫</p> <p>14：卒業研究⑬</p> <p>15：総まとめ</p>				
テキスト 参考文献	なし				
成績基準	授業態度・課題を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること				

Syllabus

					学科名
授業科目	卒業研究Ⅱ	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	2年次	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	30回	単位	2単位	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 内定企業研究をもとに、研究内容を第三者に分かりやすく発表する力を高めること</p> <p>【概要】 発表と相互フィードバックを繰り返し行い、表現力の向上を図る</p>				
到達目標	<p>内定先企業研究の成果を論理的に発表する 他者の発表を評価し、改善点を指摘できる</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：卒業研究発表の概要 02：卒業研究発表準備① 03：卒業研究発表準備② 04：卒業研究発表準備③ 05：卒業研究発表準備④ 06：卒業研究発表準備⑤ 07：卒業研究発表準備⑥ 08：卒業研究発表準備⑦ 09：卒業研究発表準備⑧ 10：卒業研究発表準備⑨ 11：卒業研究発表準備⑩ 12：卒業研究発表準備⑪ 13：卒業研究発表準備⑫ 14：卒業研究発表準備⑬ 15：卒業研究発表準備⑭</p>	<p>回</p> <p>16：卒業研究発表準備⑮ 17：卒業研究発表準備⑯ 18：卒業研究発表準備⑰ 19：卒業研究発表準備⑱ 20：卒業研究発表準備⑲ 21：卒業研究発表準備⑳ 22：卒業研究発表準備㉑ 23：卒業研究発表準備㉒ 24：卒業研究発表準備㉓ 25：卒業研究発表準備㉔ 26：卒業研究発表準備㉕ 27：卒業研究発表準備㉖ 28：卒業研究発表準備㉗ 29：卒業研究発表準備㉘ 30：卒業研究発表</p>			
テキスト 参考文献	なし				
成績基準	授業態度・課題を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること				

Syllabus

					学科名
授業科目	パソコン実習	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	2年次	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	45回	単位	3単位	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 ビジネスで必要な Word・Excel・Power Point の操作能力を身につける</p> <p>【概要】 実習回数を多く行い、就職後の実務能力を向上する</p>				
到達目標	ビジネス文書の基本知識と操作を習得。Word・Excel・Power Point でビジネス文書を作成する				
授業内容	回 1～44：パソコン実習 45：総まとめ				
テキスト 参考文献	テキスト・参考書				
成績基準	授業態度・課題を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること				